



第35号

2018年11月

市議会だより

発行／喜多方市議会 編集／議会広報編集委員会 〒966-8601 喜多方市字御清水東7244番地2

9月定例会

〔審議された主なもの〕

除雪支援の拡充など

特集	2・3
市民と議会の意見交換会	4・5
9月定例会	6～9
一般質問	10～21
審議結果	21
議会活動・お知らせ	22・23
表紙の写真	24

二人で仲良く
50年

おじゃまします 市議会です

人生のお手本 金婚ご夫婦

仲睦まじく共に力を合わせ、ご家庭の繁栄と本市の発展に寄与されてこられた結婚 50 周年を迎えられたご夫婦をおじゃましました。

本市の結婚事情は課題山積です。人口減少と少子高齢化が急速に進む中、高齢者介護・福祉のあり方も課題となっています。長い人生をより良く生きるためのお手本として、本市の未来を明るく照らすヒントを教えてくださいました。



小林 和俊さん 加代子さん
(高郷町・峯利田)

長く仲良く過ごせる秘訣を教えてください。

―家のこと、農業を一生懸命やってきたら50年経っていたという感じ。あとは、自分が勤めに出て、これ(妻)が一人で農業を一生懸命にやってくれたからね。(和俊さん)

―この人(夫)が理解があるから。好きな趣味も、文句言われたらできないでしょう。(笑)(加代子さん)

お二人の今後の目標は。

―無理をしないで健康に過ごすこと。家の前で、花を育てるのも、楽しみの一つなんですよ。

市や議会に望むことは何ですか。

―この地区は特に交通の便が悪い。デマンド交通を利用するにも、乗り場まで行くのに出費がかさむ。病院に行くにも乗継や遠回りで時間がかかり不便。診療所もなくなつて、本当に不安です。早く改善してほしいですね。

(加代子さんの趣味の刺繍の材料は、和俊さんの運転で二人で買い出しに行かれるそうです。年に一度の兄弟会での旅行など、二人そろって出かける楽しみをお持ちのお二人です。)



笠原 鉄男さん 君子さん
(熱塩加納町・新村)

長く仲良く過ごせる秘訣を教えてください。

―お互いの理解、協力、感謝、我慢の4つ。相手を思いやる心が大事です。(鉄男さん)

―同じ考えでないと50年も一緒にやってこれらない(笑)。あとは、信じてついてきた、ということかな。(君子さん)

お二人の今後の目標は。

―健康に気を付け、自分のことは自分でしていくこと。

市や議会に望むことは何ですか。

―若者の流出を止めること。これは真剣に考えて欲しい。働き口がないというけれど、若者が戻ってこない理由は、雇用の問題だけではないですよ。田舎暮らしはお金がかかる。なのに、喜多方市の所得水準は低い。それから、公共交通機関の利便性が悪い。高齢者がもっと自由に活動できるように改善してほしいと切に願います。

(鉄男さんの実家にリターンして5年。鉄男さんは農作業に、君子さんは裂き織りなどの手仕事にそれぞれ力を注ぐ毎日。お互いの趣味を尊重し合うお二人です。)



田中 久義さん スミ子さん
(山都町・一ノ木)

長く仲良く過ごせる秘訣を教えてください。

— 今思うと50年はあつという間だった。喧嘩しながらやってきたからこそ続いたのかもしれない。(久義さん)。

— 市内の商家から山間の農家に嫁いで50年。畑違いだったからこそやってこられたのかな。(スミ子さん)

お二人の今後の目標は。

— 子供が3人、孫が8人。成長が何より楽しみ。ひ孫ができるまで長生きしたいですね。

市や議会に望むことは何ですか。

— 議会だよりなど、議会からの一方的な情報発信だけでなく、年に数回、議会と意見交換できる場があるといい。地域では交流の場が減っています。女性が外に出る機会がもっとあればいいですね。

(自慢のお孫さんの写真を目を細めながら見せてくださいました。70歳を過ぎてても地域では若手と話す田中さん。地域の交流が少なくなってきたことを心配されています。)



佐藤 友信さん 保子さん
(岩月町・治里)

長く仲良く過ごせる秘訣を教えてください。

— 人生波乱万丈。浮き沈みが激しく、あつという間に50年。仕事で忙しくしてしましたが、好きな趣味のことでは一切文句を言わなかったことがないですよ。(友信さん)

— 雪の無いいわき市から嫁に来て50年、只々ついてきたという感じです。(保子さん)

お二人の今後の目標は。

— 人様に助けられて今があります。自分たちのできる限りのことは、なんでも協力する気持ちでいます。

市や議会に望むことは何ですか。

— 喜多方市はかつて農村立志であったはず。グリーンツーリズムも東北第2位。もっと横断的な政策を行い、あらゆる面で発展してほしい。産業機関の誘致も良いが、なぜ教育機関を誘致しないのか。やっぱり人づくりですよ。喜多方市にしかできないことがあるはずです。

(写真が趣味の友信さんは地元はもとより県内でも知られた重鎮。地域の牽引者として頼れる存在です。昔語りなどが趣味の保子さんも友信さんとともに活躍されています。)



栗城 一夫さん チイ子さん
(塩川町・2区)

長く仲良く過ごせる秘訣を教えてください。

— 喧嘩しても持ちこさない、和をつくるということです。(一夫さん)

— 家族で隠し事をしない、何でもよく話すこと。うちはテレビの音が聞こえないほどよくしゃべってますよ(笑)(チイ子さん)

お二人の今後の目標は。

— 健康で二人で寄り添っていくことです(お二人声を揃えて)

市や議会に望むことは何ですか。

— 私達には近所の子ども達、友達の孫さん、姪っ子甥っ子、かわいい孫がたくさんいるんですよ(笑)。その孫達が遊べるような安全な公園の整備をお願いします。

塩川駅東西自由通路は、駅を利用する学生さん達のためにも早期に実現させてください。(庭木の手入れが趣味という一夫さん。手入れの行き届いたお庭を拝見しました。チイ子さんは長年ボランティア活動をされていて、地域のお母さんの存在です。)

市民と議会の意見交換

7月27日・28日の2日間、議員が3班に分かれて市内6会場で開催し、計63名の市民の皆さんの参加をいただきました。

今年度は、各常任委員会が取り組んでいる研究テーマの中間報告と、それについての意見交換をグループワーク形式で伺いました。その内容をピックアップしてお伝えします。



塩川福祉センター



市役所ホニル棟



山都保健センター

テーマ

総務常任委員会

住民主体によるまちづくり

魅力ある喜多方市を実現するためには？！

文教厚生常任委員会

小中学校の適正規模適正配置

子どもたちにとってより望ましい教育環境とは？！

防災・減災の取り組み

減少する消防団員、自主防災組織の取り組みと課題とは？！

産業建設常任委員会

地域資源の発掘・活用

地域経済の活性化のために必要なこととは？！



熱塩加納会館



喜多方プラザ



高郷公民館

総務常任委員会

- 住民主体のまちづくりを推進するには、地域の人材育成を行い、地域リーダーの育成を行うべきである。
- 少子高齢化により地域の行事や伝統の継承などができることから、若者の活動の場を設けるべき。
- 市内の各地区間の交流の場を設けてほしい。
- 活力あるまちづくりには、若者や地域の魅力を掘り起こす必要があり、そのための組織を地域に作る必要がある。
- 地域のつながりが希薄なっている現状において、地域の組織をつくるのは地域住民だけでは困難である。
- 地域の行事に子どもが参加することにより、大人も参加できるような環境づくりに取り組むべき。
- 小学校単位での組織をつくり、市民が先頭になってまちづくりを進めるべきであり、市は、予算・計画・人材育成等を推進すべき。
- まちづくりの拠点となる公民館の運営に地域間の格差があることから、事業数の多い公民館においては増員すべき。
- 現在の地域づくり関連の補助事業は、手続が煩雑で利用しにくい。

文教厚生常任委員会

適正規模・適正配置

- 具体的には皆の意見を尊重して欲しい。
- 生活の拠点・並びにコミュニティの場として廃止・統合は反対。
- 少人数での学習もいいが、人間関係の固定が危惧される。
- 小学校は、人数が少なくても歩いて行ける場所にあるべき。
- 少子化対策と共に学力向上対策にも取り組んで欲しい。
- 生徒数が減り統合はやむなしと思うが、スクールバス通学に配慮して欲しい。
- 防災・減災
- 補助制度を活用して防災備品等を整備することができた。
- 一次避難場所が川番所（塩川町）では、水害時に孤立してしまうのではないかと。
- 防災意識の向上策を取るべきではないか。
- 避難場所が高齢者にとって遠い場合は民間施設も指定して欲しい。
- 防災放送が全く聞こえない地域や室内機が故障したままになっているところがある。
- 平地ばかりでなく、中山間地のハザードマップも必要。

産業建設常任委員会

- 整備される市道豊川・慶徳線に、桜の街路樹を植栽してどうか。各通りに、物語があったり、街路樹に合わせた名前を付けてはどうか。
- 特産品が必ずしも地域内循環につながっているのか？地元スーパーには地元商品が陳列していないし、地元の方にはあまり知られていないのでうまく循環していないと思う。地域内循環を考えれば、大手スーパーではなく市内商店街を利用する必要がある。
- 地域通貨の活用を考えて欲しい。会津全城で利用ができるような、ポイントカードを作成して欲しい。健康ポイント制度も市独自にポイントカードを作成し、地元の商店で買い物ができるようになるれば、地域の活性化につながる。
- 道の駅をもっと利活用できるようにして欲しい。直売所や複合施設をもっと充実させて欲しい。
- 雄国の資源をもっと利活用して欲しい。桜やヒマワリだけでなく、年間を通じての花のシリーズとして、花ルートのパンフレットを作成して欲しい。ラーメンの組み合わせも良いと思う。
- 喜多方全体のイメージが薄く統一された感じがしない。レトロ横丁などを常設し、年間を通じ昭和の雰囲気を感じ出したらどうか。

意見交換では、テーマ以外にもご意見・ご要望をいただきました。一部をご紹介します。

地域の運動会への補助を考えて欲しい。

結婚しない人が何人もいるが婚活活動を進め、結婚促進を図るべきである。

トップセールスが度々実施されているが、目標・結果などを市民に伝えて欲しい。

子どもが遊ぶ姿が見られない。親子で遊べる施設を整備して欲しい。

耶麻農高を考える会に、市長、地元議員も出席して欲しい。耶麻農高を、なくさないで欲しい。

Ｉターン・Ｕターン・空き家対策の充実が必要である。最新情報を掲載して欲しい。対応の充実を図るべきでは。



有害鳥獣対策を考えて欲しい。また、猟友会への補助が喜多方は少ないので増やして欲しい。

平成30年第9回9月定例会は9月6日から21日までの15日間の会期で開催されました。

市長提案により、平成30年度補正予算9件、その他の議案5件、報告3件、人事案件1件と、議会から修正案1件、議会案4件が提出されました。

主な事業

高齢者世帯等除雪支援事業



除雪が困難な高齢者世帯に対する除雪支援を行う。これまでの非課税世帯の要件を無くし、対象範囲を拡充した。
[事業費総額] 1,073万8千円(補正予算額623万5千円)

ふくしま水田高度利用推進事業補助金



水田において、夏ソバ・秋ソバの1年2作の栽培面積の拡大に必要なソバ収穫の汎用コンバインの導入に対し補助する。
[事業費] 1,118万5千円

フッ化物洗口事業【新規事業】



3学期より保護者が希望する幼児・児童に対して行うフッ化物洗口事業。
[事業費] 523万5千円

木質バイオマスボイラ導入計画策定業務



会津地域森林資源活用事業推進協議会での稼働モデル施設として、「蔵の湯」への木質バイオマスボイラ導入計画の策定業務
[事業費] 998万円

臨時議会が 開催されました

平成30年第7回臨時議会が7月10日に、第8回臨時議会が8月7日に、それぞれ1日の会期で開催され、平成30年度一般会計補正予算などが審議され、除雪機械の取得予算や緊急を要する渇水対策の予算などを決定しました。



議案審議・委員会の審査から

土地売り払い収入の内容は？

今回の土地売り払い収入の件数は2件の予定で、1件は塩川地区の旧法定外公用財産の42万8千754円、もう1件は松山町の旧養護老人ホーム松風園跡地で9千439万3千671円である。

この松山町の土地に関しては、市が以前、旧養護老人ホーム松風園を建設する際に寄附さ

れた土地であり、売却後の土地には高齢者施設が建設される予定である。

土地売り払い収入の用途については、委員から具体的な用途の提案などがあつたが、現在のところ決定しておらず、今後検討するとの答弁があつた。

ふくしま水田高度利用推進事業とは？

今回のふくしま水田高度利用推進事業の内容は、補助金での支援で、営農形態が1年2作の栽培条件での適用となる。

詳細は水田において、夏ソバ・秋ソバの1年2作を行う栽培の面積拡大に必要となる、ソバ収穫のための汎用コンバインの導入に対して補助を行う。

対象者は17ヘクタールの規模拡大を予定している認定農業者1名と、15ヘクタール・5ヘクタールの規模拡大を予定している営農

組織1経営体で、それぞれ1台の合計2台の汎用コンバインの導入に対して支援を行うとの答弁があつた。



高齢者世帯等除雪支援事業は、

課税・非課税を問わず対象に

今回の補正予算により、これまで対象を非課税世帯としていたが、課税状況を要件から除外し、課税・非課税を問わず対象とした。

具体的には、65歳以上の者、身体障がい者手帳所持者、療育手帳所持者、通信福祉手帳所持者、要介護あるいは要支援の認定を受けている者、第2号被保険者、中学校就学前の児童を養育する世帯、ひとり親世帯、またそれに準じる世帯を対象とする。

1世帯当たりの交付枚数を見直し、平地はこれまでの12枚を20枚とした。山間地は18枚を28枚に、豪雪地は30枚を36枚とした。

対象世帯や交付枚数の増加により、除雪を依頼しても頼めない事態も懸念される。

それに対しては、市が委託をして除雪をしている登録業者の受託割合が建設関係の業者が約4割、シルバー人材センターが約3割、地域密着型の団体が3

割となっている。頼む側としては建設業者よりはシルバー人材センターや地域密着型業者のほうに頼みやすい。建設業者は除雪作業に携わらなければならぬ場合も考えられ、その点で地域密着型業者をより多くしていきたい。

各地区に自主防災組織が68団体あるので、秋の行政懇談会の中でも各行政区に除雪を請け負える団体の設立をお願いしたい。このようなところに積極的にお願いし、少しでも多くの団体に登録していただき、地域のことには地域でやっていただけるような仕組みにしていきたいとの答弁があつた。



姥堂児童クラブ館改修工事により 環境改善へ！

現在、姥堂児童クラブ館は姥堂小学校の一つの教室の真ん中に仕切り壁を作り半分を使用している状況である。

受入れ児童数が13名に対して登録人数が16名と手狭であったが、今回、学校の理解と協力により倉庫として学校が使用していた半分についても児童クラブ館として使用することが可能になった。

このことから改修工事を行うものであり内容については、真ん中の仕切り壁の撤去、倉庫の隣が教室なので教室の壁を防音壁にする、その他の経費としては児童クラブ館の内装工事と、倉庫の物品の移動に伴う経費である。

児童クラブ館には現在一台のエアコンが設置されているが、拡張により面積が25・79㎡から約2倍の56・8㎡になることからエアコンをもう一台設置する。

今年度の予定登録児童数を全児童数から当初最大で20名ほど見込んでいたが、実際は16名の

児童となった。この改修工事により受入れ環境の改善が図られ、次年度は、今回の改修工事により面積が約2倍になることから現在の受入れ可能児童数から13名から26名にしたいとの答弁があった。



▲手狭な姥堂児童クラブ館

初めての木質バイオマスボイラ導入は どのような？

導入計画の策定は市で行うが、会津地域森林資源活用事業推進協議会での木質バイオマスエネルギーの利用を熱供給事業にした場合の調査という位置づけになっている。会津全体で2施設に導入し、会津地域における稼働状況に係る情報を共有するために、そのモデル施設として「蔵の湯」が選定されたという経過がある。導入は今年設置される民間事業者が行い、設備投資に対する市からの直接的な負担はないと考えている。

具体的には「蔵の湯」の温泉施設の昇温、シャワー用水等の基礎熱量を木質バイオマスボイラの熱量で賄い、混雑時は既存のボイラーも併用する。

原料の木質チップは、3年間は市内業者から購入し、その後は民間事業者によるチップの生産へシフトしていく予定である。

ランニングコストは、灯油代700万円分を木質バイオマスに置き換えた場合、630万円の熱量の

使用料ということになり一割ほど軽減する予定である。今まで灯油代として700万円分を海外に流出していたが、630万円が地元から調達できることになり、しかも地域内で循環できることから、今後の林業の振興や、森林所有者の所得の向上にもつながるものと考えているとの答弁があった。

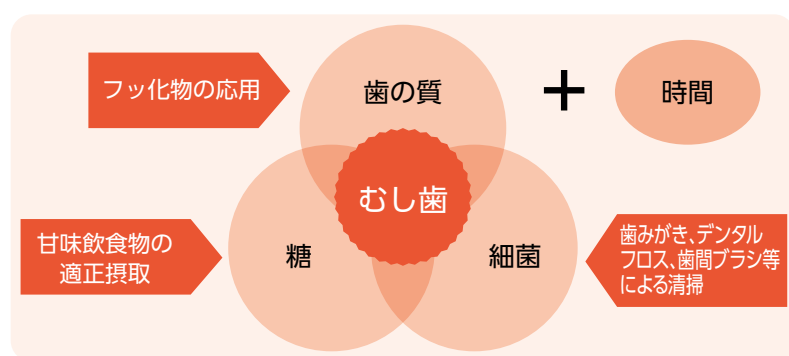


▲木質バイオマスボイラ設置例
(福井県あわら市)

子供達に丈夫な歯を!! フッ化物洗口実施予算に修正案

本市の幼児、児童達の虫歯の有病率は減少傾向であるものの国や県の平均よりも高い状況にある。この対策としてこれまでの虫歯予防の取り組みに加え、国においても有効性が評価されているフッ化物洗口の実施を計画している。その実施予算が提案され、一部の議員から修正案が提出された。理由としてはフッ素塗布が既に医療機関において実施されており、市内の一部の小学校の虫歯予防の取り組みにより、有病率の低下の実績もある。少なからず父兄の中には反対する意見もあり実施を急ぐべきではなく、丁寧な議論を重ねるべきであるというものであった。文教厚生常任委員会と本会議において議論され、修正案は否決され、市提出の原案が可決された。

この予算により、歯科衛生士を嘱託職員として1名雇用して薬剤の調整や歯科衛生の全体業務を担当してもらう。今後、希望者の調査及び実施に向けての



▲カイスの輪

※カイスの輪…むし歯が発生する4つの要因。それぞれに対してバランスよく取り組むことで、むし歯予防に最も効果があります。

請願と陳情の審査

市民の皆さんから提出された請願は付託された各委員会次第の通り審査されました。

請願第10
地方財政の充実・強化を求める意見書提出の請願
全会一致で採択
(総務常任委員会)

請願第11
リアルタイム線量測定システムを一方的に撤去しないことを求める意見書提出の請願
市の住民の不安が払拭されるまで、国の責任において継続して設置するよう、市として強く要請する内容の要請文を原子力規制委員長へ提出した。
全会一致で採択
(文教厚生常任委員会)

請願第12
リアルタイム線量測定システム(モニタリングポスト)の継続配置を求める意見書提出の請願
みなし採択(請願第12と同一趣旨のため)
(文教厚生常任委員会)

請願第13
学校給食費の無料化を求める意見書提出の請願
反対 親の養育に対する責任を明確に議論するために食材費の幾分かは親が負担すべきである。
賛成 義務教育においてはこれを討論 無償とする教育基本法があることから、国全体で無償化をすべきである。
反対多数により不採択
(文教厚生常任委員会)

請願第14
主要農作物種子法の復活を求める意見書提出の請願
反対 県では「主要農作物種子生討論 産取扱基本要綱」を定めて平成30年4月1日から施行されたので、何ら危惧されるようなことはない。
賛成 これまで保護されてきた知識 討論 見の流出や民間の参入により、安価で良質な種子の安定供給という日本農業の根本的な部分を揺るがすことが危惧される。
賛成多数により採択
(産業建設常任委員会)

採択された「請願」は、市議会の意向を意見書にまとめ、市や国、関係機関へその実現を要望します。

喜多方市政のココが知りたい！

一 般 質 問

一般質問は、市政全般について市の方針を質すものです。

9月定例会の一般質問は9月10日から13日までの4日間行われ、22名の議員が登壇し、市民の皆さんの生活にかかわる行政全般について質問をしました。

(文面は各議員の自己編集とし、要約して掲載しております。)



開会中はインターネット中継を配信しています。

過去の配信映像もオンデマンド配信で視聴できます。

※各議員のQRコードをスマートフォンのバーコードリーダーで読み取ると、オンデマンド配信でご覧いただけます。

一
般
質
問

県が集水井工事を複数箇所追加へ



後藤 誠司 議員



問

高郷町揚津地区地すべり災害対策について、集水井工事の進捗と、2カ所以外にも設置する計画はあるのか伺う。

答

集水井の掘削は9月中旬には完了する。その後、水抜き横ボーリングを施工し年内には完了する予定であり、進捗は計画通りである。

2カ所以外の集水井については、県道下流側に複数箇所追加設置される計画であり、県議会9月定例会に集水井の追加工事に係る補正予算が計上される予定。

位置等については、調査ボーリングで設置した地下水位計の観測やGPS観測、伸縮計観測等の結果を踏まえて、総合的に検討する。

答

道路橋梁維持経費の修繕料で、既設ガードロープ540mの修繕や再設置、及びカーブミラー5基の交換を行う。また、交通安全施設整備事業費で、新たにカーブミラー6基を設置する。

問

地域住民から要望のあった道路側溝のふた掛けについての対応は。

答

県が市道赤岩・立岩線の600mを実施する。



▲集水井の掘削工事

問

迂回路の市道赤岩・立岩線の交通安全施設の修繕及び工事の内容について伺う。

異常気象による渇水対策を問う



山口 和男議員



問

異常気象により全国的に甚大な被害が出ているが、本市の被害総額は。

答

本市における被害は水稻千ばつ被害のみで、被害総額は1千585万円である。作物別被害状況については、8月23日現在、千ばつの影響などにより出穂していないほ場が13・2ha発生している。他の農畜産物については、若干の品質低下等が見られるものの、被害までには至っていない。

問

渇水に対する国への要望と本市の対策を伺う。

答

このたびの渇水により、日中ダムの水を安定的に利用できる体制づくりが重要であると再認識したところである。平成24年の渇水時、県に対し操作規則の弾力的な運用と農業用水を確保を要望し、



対応が困難との回答があった経過があったが、今回の渇水において、かんがい用水の放流停止になった状況を踏まえ、改めて要望してまいる。市が行う渇水対策に対する財政措置の支援等、関係機関とともに国等への要望を行っていく。

本市の対策としては、迅速に対応できる体制づくりが重要であり、これまで取り組んできた渇水対策を検証しながら、渇水対策マニュアル等の策定について、関係機関と協議してまいる。

頻発する異常気象に根本解決を!



小島 雄一議員



問

今夏の深刻な渇水状況はまさしく異常であった。過去33年間のデータでは日中ダムの本格運用の前年平成6年に渇水状態になってから暫くなかったが平成20年以降は今年で4回目である。温暖化が止まっていない事を思えば近い内に再発する事が予想される。今回を教訓として対策を立てる必要があると思うが伺う。

答

例年になく降水量が少なく農業や水道に影響が出るおそれがある事から渇水対策本部を設置し、対策にあたった。高郷の予備水源の活用を始め、消雪施設用井戸12カ所を農業用水に活用した。今後使用していない16の水源施設を調査して活用を検討する。対策マニュアルについては、関係機関と協議して検討したい。

問

日中ダムの洪水期制限水位標高43mの弾力的運用が出来ないか伺う。

答

平成24年の渇水時に県に対し要望したが、難しいとの回答であった。再度要望していきたい。

問

温暖化防止の為に再生可能エネルギーの活用が重要だが、本市に大量にあるもみ殻の活用について伺う。

答

もみ殻利用の発電にはまだ課題が多いため、技術開発によりクリア出来れば利用可能なエネルギーとなる。もみ殻の固形化利用も含め取り組みを検討する。



▲日中ダム

市民のためにしっかりと防災・減災施策を!



遠藤 吉正 議員



問

避難指示・避難勧告は誰が判断し、どのように市民に伝えるのか。

答

避難情報については気象庁の大雨・洪水警報や現場の災害状況から判断し、災害対策基本法に基づき市長が発令する。

問

7月の西日本豪雨では避難指示等が分かりづらいたとの指摘があったが、市としては今後どのように対応するのか。

答

西日本豪雨では行政が出す避難情報を、いかにして命を守る避難につな

問

遅れている「災害時業務計画策定」の取り組み状況は。

答

昨年11月消防庁、内閣府主催で開催された計画策定研修会に職員が参加し、現在策定業務を進めている。今後、各課において非常時に優先する業務の選定や重要なデータバックアップ方法を確認し、年度内の策定を目指し作業を進めている。

何が違うの?



一般質問

手話言語条例の制定を急ぐべきだ

問

聴覚障がい者が生活しやすい環境を整備することとを目的としておることから、手話言語条例を本市においても、制定をすべきと思うがどうか。

答

県においても条例制定に向けて検討を行っているところであり、市においても、県との連携を図るとともに、第3次喜多方市障がい者計画を踏まえ関係協議会の意見を伺ながら条例の制定にむけて検討する。

問

条例の制定に向けての第一歩として施策推進会議を設置し手話の普及に向けた方針を定める作業が必要であるがどうか。

答

地域自立支援協議会において、障がい者に関する施策について協議を行っており手話施策推進会議の必要性については条

問

本市においては予算を確保して、手話奉仕員や手話通訳等の人材育成を図るべきと考えるがどうか。

答

2カ年サイクルで奉仕員の育成講座を行っており、手話通訳者育成研修は難易度が高いことや研修場所へ移動の課題から、受講希望者はきわめて少ない。

問

全職員を対象とした手話研修を行い、市民生活のさまざまな場面で活躍できる体制が求められるがどうか。

答

実施に向けては、担当の社会福祉課において行い、日常的に使用する環境づくりを進めながら、全職員の研修は今後検討する。



佐原 正秀 議員



公立・私立の区別なく早急なエアコン設置を



渡部 一樹 議員



問

小・中学校におけるエアコンの設置状況を。示せ。

パソコン室及び保健室に設置しており、その他の教室には扇風機を設置している。

問

今夏の室温状況はいかがか。

6月から8月の3カ月のうち、夏休みを除いた期間の状況として、30度以上となった日数は全24校中、18校で延べ160日である。

答

また、平均気温は27度、最高気温は37度であり、校舎内の気温は上昇してきている。

問

それらの状況を踏まえ、市のエアコン設置に対する基本方針は。

近年の気象状況や校舎内気温の実態を踏まえると、緊急的な措置を講じ



問

必要があると考えており、現在、早急なエアコンの設置に向けて、財源の確保を含め方法等について検討を進めている。

答

こども園等には設置済みであるが、一部未設置の私立の施設については、現状、補助制度もない。公立・私立の区別なく、エアコン設置に向けて市が支援していくべきと考えるが見解を求める。

私立幼稚園の指導・監督には県が当たることとなっており、相談にも県が当たることになっている。

外環状道路建設は地域住民の意向を反映すべき！



齋藤 仁一 議員



問

市道豊川・慶徳線外環状道路整備事業における住民説明会の主な意見は何か。また、今後協議が必要なのかがあるのか。

答

住民説明会は、5行政区で延べ6回開催した。主な意見は、既存道路側溝の機能改善や用・排水路の付け替えの方法や計画道路のルートのかえ方などである。地域住民との協議は、現在細部について調査中であるので、今後道路の詳細設計の原案を作成した段階で説明会を開催し、意見・要望を聞き設計に反映する。

問

環状道路建設により、行き止まりになる不便さや車の流れが変わることによる商業への影響などを懸念する声があるが、どう対応するのか。

答

そのような意見を聞いた。今後、利便性の確保などを考慮して、計画策定後、再度住民説明会を開催する予定である。

問

この計画道路の近辺地域への誘導のためのサイン計画が必要であるが、どう対応するのか。

答

道路整備により、交差点を改良することから、各交差点に道路案内標識等を設置する。また、会津縦貫道IC周辺地区については、地区への侵入道路が変更となるため、地域住民や訪れる方が困らないよう、地区名を表示した誘導案内などを設置する考えである。



▲住民説明会

どう取組むのか、農業・農村振興と安倍農政改革



矢吹 哲哉 議員



問 本市農業・農村の現状と対策は。

答 農業就業人口は10年間で約3割減少し、60歳以上が8割を超えるなど、農業従事者の高齢化と担い手不足が顕著である。稲作偏重からの転換による高収益な園芸作物の拡大・施設化、省力・低コスト化、6次産業化による収益性の高い農業経営の実現を推進、一方、多面的機能の維持・発揮を促進する取組みを進めていく。

問 安倍政権による米政策の転換・TPPなど自由競争・攻めの農政の評価は。

答 米政策については、需要に応じた生産が行えるようになる一方、過剰作付が進めば米価下落が懸念される。産地交付金な

ど水田活用の直接支払交付金の充実が図られたが、TPP等については、農業への影響が懸念され、将来への不安が非常に大きいことから、国に対しては、全国市長会等を通じて国内農業の持続的発展等に万全の措置を講ずるよう要望していく。

問

小学校区単位の農業・農村協議会を組織し、地域から農業と地域・農村を維持させていくことが必要では。

答

小学校区単位の協議会を設置する考えはない。集落間での話し合いを通じて担い手となる経営体への農地の集積を図る「人・農地プラン」の取組みを推進していく。



まちづくりとしての環境整備・住宅地の水路機能対策

問

観光立市としてのまち並みの美化・環境整備は重要な取り組みである。住宅地の水路は雨水対策機能が主なもので、汚泥等の堆積や下水道未整備地区での悪臭・蚊の発生といった苦情はあるか。

答

住宅地における水路への苦情は、過去3年間で8件、汚泥の堆積に関するものが3件、悪臭等に関するものが5件あった。

問

今後も、水路機能を維持するために、パワフルマスター（強力吸引車）による汚泥除去が必要である。汚泥・土砂の除去実績、原発事故後の水路汚泥の放射能汚染状況など、今後の課題はどうか。

答

パワフルマスターの汚泥除去実績は、行政区長



長澤 勝幸 議員



の要請に基づき出勤しており、過去3年間で平成28年度に1件だが、原発事故前は年間に10数回出勤していた。

今後の課題は、原発事故後からパワフルマスターで「羽山最終処分場」（慶徳町）に直接汚泥の搬入ができず、水分除去・土嚢への詰め替え・最終処分場への運搬作業など、相当の労力が必要になる。

平成23年10月に市内9カ所の側溝汚泥の放射線濃度を測定し全ての箇所指定廃棄物の基準となる8千ベクレルを下回っていたが、再度、側溝汚泥の放射線濃度を測定し安全性を確保する。



▲パワフルマスター

合葬墓設置の早期実現を



菊地とも子議員



問 合葬墓の設置に向け今後どのように取り組むのか。

答 今年7月23日に開催した市営墓地整備等庁内検討委員会において、合葬式施設整備に係る基本方針として「次期上ノ山墓地公園拡張整備計画において、合葬式施設の整備を含めて検討する」とこととしたところである。合葬式施設の規模、建設場所、建設時期などについて、市営墓地整備等庁内検討委員会及び作業部会の中で検討を進めてまい

る。

問 建設時期は。

答 上ノ山墓地公園の墓所は、毎年、平均的な使用許可申請があった場合、4年後の2022年ごろまでに新たな墓所を造成

する必要があると予測しているので、一つの目安になると考えている。



▲他自治体の合葬墓の例

問 認知症カフェを増やすべきと考えるが。

答 今年度は、慶徳公民館及び12の介護事業所、合わせて13カ所で実施している。認知症の方やその家族以外でも気軽に足を運べる地域の集いの場としてのカフェを増やしていけるよう推進してまい

問 認知症サポーターが地域で活躍できる取り組みは。

答 平成30年10月より「認知症サポーターステップアップ講座」を実施する。

教育環境の充実と子育て支援。視覚・聴覚障がい者等への支援



田中和加子議員



問 今夏のような猛暑はこれから続くと予想されている。児童・生徒と教職員の教育環境と安全を

考え、来年5月までに市立小・中学校の普通教室・職員室等へのエアコンの設置を求めるが見解を伺う。

答 近年の気象状況や校舎内気温上昇の実態を踏まえ、緊急的な措置が必要と考える。財源の確保等も含め、早急なエアコン設置に向けた検討を進めている。

問 県立病院跡地に、天候に左右されずに親子で楽しめて、子育て世代の交流の場にもなる無料の屋内遊び場の建設を求めるが見解を伺う。

答 市民のワークショップの開催など検討を重ね、パブリックコメントを経

て、年内を目途に基本構想を策定したい。「検討報告書」に基づき、「屋内の子どもの遊び場」「子育て世代交流拠点」等の施設整備構想の検討を進めている。

問

補聴器をつけた時の雑音等に邪魔されずに、音声聞き取れる磁気ループと、低視力や弱視等によって文字や画像の見えにくさを補う拡大読書器を公共施設に導入し、視覚・聴覚障がい者等の支援を求めるが見解を伺う。

答

磁気ループは他市の設置状況を調査し対応を考える。拡大読書器は障がいのある方への支援になり、早急に導入する。



▲磁気ループ

三ノ倉高原と道の駅「ふれあいパーク喜多の郷」の今後の整備方針は？



上野 利一郎 議員



問

三ノ倉高原の混雑期は道路渋滞、仮設トイレの順番待ちになっている。抜本的な解決方法は。

答

ひまわり畑の見頃の時期の休日に国道121号での交通誘導員の増員について検討する。また順番待ちの解消に向け、仮設トイレの増設について検討する。加えて、新たな駐車場拡張の可能性についても合わせて検討する。

問

高原へのアクセス林道の無舗装部を舗装化し整備すべきでは。

答

道路幅が狭く対面通行が厳しい。また、ガードレールが設置されていない箇所があり安全面に支障があるため、拡幅を含めた大規模な道路改修が必要となることから、難しいと考える。

問

道の駅「ふれあいパーク喜多の郷」のリニューアル化の計画は。

答

公衆トイレについては、施設の老朽化が著しいため、訪日外国人旅行者や道の駅の利用者のために、今年度に和式便器の洋式化を中心に全面改修を進める。近年、他の道の駅においては、農産物直売所が充実しており、新鮮な野菜を求める観光客で大変にぎわっているため、農産物直売所の整備は、誘客に効果があると認識している。しかし、新たな施設整備の財源や運営面において課題があり、その運営方法などを含め、関係団体と調査研究していく。



▲オープン後、すでに22年が経過した道の駅「ふれあいパーク喜多の郷」

旧商業高校、県立病院跡地利活用の進捗ともみ殻固形燃料の利活用は



江花 圭司 議員



問

わくわくする跡地活用に関する提案内容を伺う。

答

11名の方々より寄せられた提案内容は、子育てと市民交流、文化施設が一体となったコミュニティセンター、老朽化した公共施設と市の特産品のPR等の機能を備えた複合施設、食育を推進する親子キッチンスタジオ、音楽スタジオ、創作、発表の場、本市産のズギを活用した施設整備など。

問

先進施設調査の選定理由を伺う。

答

公民連携した管理運営をしており民間企業が受託している。新潟県新発田市の図書館、こどもセンター、市民活動センター、カフェ、インキュベーター棟などが整備された複合施設「イクネスしばた」を視察先とし、私立

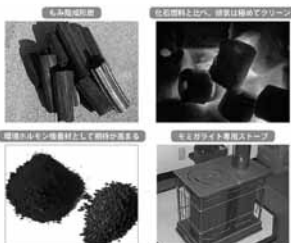
問

専門学校への施設委託等も管理手法の一つとして検討していく。

答

もみ殻固形燃料の利活用について、蔵の湯パイオマスボイラ設計の業務委託で、木質ペレット以外に、処理に困っているもみ殻固形燃料化と、土壌改良材となる焼却灰（二酸化ケイ素）を用いた仕組みを設計に組込むことは可能か伺う。

もみ殻固形燃料として循環させる取り組みについては、森林資源だけでなく、もみ殻や副産物である焼却灰の有効利用についても、関係各課連携を図り、利用推進に向けて検討していく。



▲ここがすごい！
「環境にやさしい」
「火力が強い」
「備蓄燃料に最適」

商店街活性化の鍵は「まちの駅」化も方法の一つ!



関本美樹子 議員



問

全国に公共・民間を問わず主に小売店舗を中心とした「まちの駅」という枠組みがある。2020年に向け増えてゆくインバウンドにも対応できるように商店街の活性化を図るための拡充を望むが、どのようなものがあるか。本市における「まちの駅」の現状はどうなっているか。

答

「まちの駅」とは、まちづくりの拠点となり、まちとまちをつなぐ役割を担うことを目的に全国各地の駅連絡協議会により認定された既存の施設である。

全国では1668カ所、会津管内では50カ所の小売店・飲食店・観光案内所・宿泊施設などで展開されている。本市においては、金融機関・飲食店の2カ所の施設がある。

答

地域や観光客の方々が交流することにより、まちの中に賑わいを創出出来る施設である為これまでも観光パンフレットの提供等を行っている。

問

本市はどのような形で「まちの駅」と関わっているか。



▲みんなで盛り立てよう！
塩川の商店街

「まちの駅」間のネットワークや「道の駅」との連携により、相乗効果が図られ、インバウンド（外国人観光客）も含め地域活性化に繋がることも考えられる。他市の事例を参考にしながら、情報提供も含め効果的な市との関わり方について調査研究をしていく。

峠の改良整備は!



齋藤 勘一郎 議員



問

今年度の事業内容は、どのような内容になっているのか。

答

慶徳峠頂上部から環境センター入り口までの道路概要設計と緊急性の高い区間の地質の地表地質踏査等の長さを実施している。

問

来年度以降の計画は。

答

緊急性の高い区間の測量及び道路詳細設計等を予定しているとのことであり、市として県に対して早期着工、完成に向け強く要望していく。

問

山都総合支所周辺の環境整備はどのようにしているのか。

答

整備の必要性について検討してきたが、庁舎前駐車場の雪捨て場として活用することとした。

問

残土処分については、どのようにしているのか。

答

処分については搬出先が確定できず、費用も多額で雪捨て場や植栽整備などに利用していく。

問

通学路の横断歩道が見えない。横断歩道や車道の停止線の整備は。

答

横断歩道や停止線のライン引きは公安委員会が行うことになっており、県内において更新の箇所が多く整備が進んでおらず、今後も要望していく。



▲残土の状況（左側）

ハザードマップの見直しを早急に！



小林 時夫 議員



問

本市には、洪水ハザードマップや土砂災害ハザードマップがあるが、今の災害状況を鑑みれば、ハザードマップの拡充を含め見直しが必要ではないか。

答

洪水ハザードマップについて、阿賀川・日橋川洪水ハザードマップは、国土交通省において平成28年5月に浸水想定区域の見直しが行われ、平成29年に作成した。現在、福島県において田付川の浸水想定区域の見直しが進められており、平成31年度内に公表されるので、公表後は、現在の洪水ハザードマップを速やかに更新する。

土砂災害ハザードマップについては、県が警戒区域指定等を完了した旧市町村単位で作成する。現在、市内に21カ所ある

問

ため池のハザードマップの策定は。

答

ため池のハザードマップについては、完成しているの、これから、ため池を管理する関係者へ配布し、周辺住民へ周知していく。



▲喜多方市洪水ハザードマップ

市長の政治姿勢を問う！



渡部 勇一 議員



問

県立病院や県立商業高校の跡地を効率的に利用することは、本市が変わる機会であると考えているが、両跡地利用の政策的目的及び目標は何か。

答

本市及び近隣町村等との連携による「広域圏全体を見据えた定住人口減少の抑制」を政策的目的として位置づけ、交流人口の拡大による地域産業の活性化や人材育成による就業機会の拡大、若い世代の方が安心して子育てを産み育てることのできる環境や、保健・医療・介護・福祉の連携と充実に向けた環境の整備を行うことにより、若者を選ばれるまち、訪れたいまちの実現に向け跡地の利活用に取り組む。

問

人口・経済対策の一つとして教育施設の誘致があると思うがどうか。

答

教育施設の誘致のメリットとしては、若者の市外からの流入促進や市外への流出防止による将来的な定住人口の増加、また若者が集い、市内で生活していく中で、地域社会に溶け込み、本市の魅力に触れることにより消費拡大や賑わい創出効果など地域活性化に繋がっていくものと期待される。本市においては、教育施設等の動向に関して、県や関係機関等と連携を密にして、情報収集に努めていきたい。



▲県立病院跡地

合併13年後の現実に対応した総合政策の推進を



渡部 孝雄 議員



問

都市計画、公共施設、学校施設の見直し等30年、50年後を決定づける政策では、住民の合意形成、喜多方モデル実現への市長の考えは如何か。

答

公平さの追求、地域力活用、国県との連携を基本理念とし、「オール市民」でまちづくりを進める。

問

公共施設の見直しでは30%削減を目標としているが、公平な住民サービスをどう担保するのか。

答

施設の改修・再編は市民ニーズや利便性、地域振興を踏まえて進める。

問

立地適正化計画（都市計画見直し）では地域自治の拠点づくりや都市部との連携を進める具体的なイメージ図を示せ。

答

把握した上で方向性をまとめる。

問

小中学校の適正規模適正配置では、市長、教育委員会はまちづくりの全体像の中で方針を示せ。



▲塩川駅

答

広場や駐車場などの基本設計では地域住民との意見交換会を予定する。

問

塩川駅東西自由通路を中核事業とした都市再生整備計画では地域住民を交えた協議会の設置を求む。

答

都市機能・居住誘導区域など将来の都市構造を示したイメージ図を作成して市民の意見を伺う。

「災害級」猛暑への対応 子どもと高齢者等への配慮が最優先課題



坂内 鉄次 議員



問

市役所本庁、各総合支所、プラザ、体育館など市の施設や民間の施設・店舗を開放し、涼める工夫によりクールシェアを推奨してはいかがか。

答

クールシェアは、家庭におけるエアコンの使用が控えられることで、電力などの消費エネルギー削減や地球温暖化防止、熱中症対策などに資するものであり、県が推進する「ふくしまクールシェア」と連携することで、更なる効果が期待されることから、クールシェアスポットへの登録に向けて取り組む。民間の施設、商業施設に対して、クールシェアスポットの登録制度を広く周知していく。

問

市内小中学校へのエアコン設置のスケジュール、方法等について伺う。

答

近年の気象状況や校舎内気温が年々上昇している実態を踏まえると、緊急的な措置を講ずる必要があると考える。現在、財政面や設置にかかるスケジュールの検討とともに、全校一斉にできる方法も含め、早急なエアコンの設置に向けた検討を進めているところであり、12月議会を目途に、その内容を示したい。



高額な、市三役の退職金を見直すべきではないか！



田中 雅人議員



問

答

市長と副市長は4年に一度退職金の支給があり、教育長は3年に一度ある。条例による支給額を伺う。また、小泉元首相は5年で退職金が約650万円だった。「知事も市長ももっと退職金について考えてほしい。多すぎるのではないか」と国会で発言している。退職金の仕組みは国ではなく市長が諮問して各地方自治体が条例で決めている。その点でも審議会の設置が必要ではないか。

4年に一度、市長は2052万円、副市長は1094万4千円が、教育長は3年に一度504万円が、任期毎に支給される。

今年中に特別職等報酬審議会を設置、開催する。

答

問

駒形地区県営基盤整備事業の全体計画と事業の進捗状況について、併せて市道の舗装計画を伺う。

総事業費は64億7615万円の計画で三地区に分けて県営による基盤整備事業をすすめている。

第一地区は50・4％、事業費は5億6815万円、第二地区は124％、事業費32億4100万円、第三地区は138・3％、計画事業費は26億6700万円。今年度において3ブロックのうち1ブロック、48・3％のほ場の区画整理が完了する予定。

市道舗装では第二地区で、中屋敷地内の生活道路2路線を予定、歩道を整備する路線として田原・熊倉線及び塩川・金森線を位置づけ、田原・熊倉線から整備中である。

企業誘致の進捗状況は



五十嵐吉也議員



問

答

問

答

トップセールスによる企業誘致の現状について、市長は6月定例会において「39社の企業訪問を行った。」と自ら答弁された。その日程と内容について伺う。

6月定例会で答弁した企業訪問は職員による訪問であり、市長は一度も訪問していない。

企業誘致は、職員に任せず、まず市長が訪問することで相手に熱意を伝えるべきと考える。企業誘致を積極的に行い、人口減少に歯止めをかけていただきたいが伺う。

市長は7月に7件の企業訪問を行い、1社当たりの訪問時間は1時間30分であった。

問

答

問

答

企業訪問では、本市の優位性を土地の廉価と支援制度・水・人材としてあるが、未だ立地が無いのは優位性がないのではないか。訪問効率を上げるのにパンフレットも良いが、他にないマニュアル・誘致戦略で差別化を図り、論理性を高め優位性を確保すべきであるが伺う。

会津大学、テクノアカデミー会津校等による人材の優位性、自然災害の無さで誘致を進めている。

具体的に企業の反応はどうか。

市内企業の本社である1社から、市内にある工場の増設計画があり、用地確保に対する協力等の要望を受け、対応を図っているところである。



▲企業向けパンフレット

深刻な水不足、日中ダム渇水対策は!?



佐藤 忠孝 議員



問 日中ダム渇水対策で、旧水道水源の活用結果は。

答 旧水道を活用した対策は松野頭首工からの取水を水掛りとする地区において、十分なかんがい用水が行き渡らない状況にあったため、旧喜多方市水道事業で使用していた第一水源井戸に仮設ポンプで濁川に放流し、松野頭首工から受益農地である慶徳地区・豊川地区に農業用水を供給することができ、水稻の状況が回復したことから効果があった。

問 水掛り地域ごとに、どのような対策をとってきただのか伺う。

答 日中ダムかんがい用水施設の管理者である会津北部土地改良区では、用水排水維持管理委員会と連

携しながら、日中ダムの各水系上流部での取水を必要最小限にし、優先的に下流部へ放流する取り組みや、各水系における交互取水の取り組みにより、地域単位での農業用水確保に努力した。



▲放流の試運転状況

問 農業用水が一番不足した地域はどこか伺う。

答 豊川地区・慶徳地区・堂島地区・姥堂地区で不足し、中でも慶徳地区の農業用水不足が深刻であった。今後の稲作への影響は、慶徳地区の特に下流域で農業用水の確保が困難となった。

9月定例会で提案された議案等の審議結果

意見が分かれたもの 採決で賛否が分かれたものについては下記のとおりです。これ以外の案件などは、全会一致で採決されています。すべての議案名と結果は喜多方市議会ホームページをご覧ください。

議案等名		議員名	議決 結果	賛・反対	田 中 和 加 子	矢 吹 哲 哉	小 島 雄 一	関 本 美 樹 子	江 花 圭 司	上 野 利 一 郎	遠 藤 吉 正	渡 部 一 樹	後 藤 誠 司	菊 地 と も 子	小 林 時 夫	長 澤 勝 幸	坂 内 鉄 次	渡 部 勇 一	齋 藤 仁 一	田 中 雅 人	遠 藤 金 美	渡 部 孝 雄	五十 嵐 吉 也	大 川 原 謙 一	齋 藤 勘 一 郎	佐 藤 忠 孝	佐 原 正 秀	山 口 和 男		
議案 第94号	平成30年度喜多方市一般会計補正予算（第6号）に対する修正案	修正案 否決	9:15		○	○	●	○	●	●	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	●	○	●	●	●	●	●	●	●
議案 第94号	平成30年度喜多方市一般会計補正予算（第6号）	原案 可決	21:3		○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	●	○	○	○	○	○	○	○
議案 第105号	平成30年度喜多方市一般会計補正予算（第7号）	原案 可決	23:1		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
議会案 第12号	主要農作物種子法の復活を求める意見書	原案 可決	22:2		○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議会案 第13号	学校給食費の無料化を求める意見書	原案 可決	13:11		○	○	●	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	●	●	●	●	●	○	○
請願 第13	学校給食費の無料化を求める意見書提出の請願	採択	13:11		○	○	●	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	●	●	●	●	○	○	○
請願 第14	主要農作物種子法の復活を求める意見書提出の請願	採択	22:2		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※ ○は賛成、●は反対、一は欠席 議長（佐藤一栄）は採決に加わらない。

議会活動

高郷地すべり災害対策会議 現地視察(10月5日)



6月末に設置した「喜多方市議会高郷地すべり災害対策会議」では対策が進む現地を視察し、県会津農林事務所から迂回道路である市道赤岩・立岩線の整備・進捗状況等の説明を受け、早急な県道の復旧を求めたところです。10月末に実施された中央要望でも生活環境整備の予算措置を求めました。

今後、地域の皆さんが一日も早く安全・安心な生活を取り戻せるよう取り組んで参ります。

タブレット議会始まる

市議会では、議会改革の一環として、9月定例会から本会議でのタブレットの使用を開始しました。

これにより、議会の情報一元化を図り、議会及び議員活動の積極的展開や資源削減等による事務の合理化、効率化を推進し、より市民に分かりやすい議会運営を目指します。



人事

全会一致で任命することに同意しました。

人権擁護委員

幸田 久美子(菅原町)

※敬称略

喜多方市議会中央要望の実施

喜多方市議会では、地元選出国會議員等への要望活動を行っています。

今年度は10月22日(月)に喜多方市の現状と課題を説明し、次のとおり要望書を提出しました。

○要望先

衆議院議員：菅家一郎氏、小熊慎司氏

参議院議員：森まさこ氏、増子輝彦氏

○要望事項

- 1 福島第一原発事故にかかる国の対応について
- 2 地方財源の充実と確保について
- 3 子育て・少子化対策について
- 4 産業集積のための基盤整備による雇用就業対策の推進について
- 5 鉄道の充実・強化について
- 6 国民健康保険制度の安定・充実について
- 7 有害鳥獣(ツキノワグマ、サル、イノシシ等)被害対策に係る支援について
- 8 国営かんがい排水事業(会津北部地区)の整備促進について
- 9 「空き家対策」に関する財政支援の拡充について
- 10 地すべり対策に対する国の支援について



市議会からのお知らせ

〈12月定例会の予定〉

日	月	火	水	木	金	土
11/25	26	27	28	29 本会議 (開会、会期決定、 提案理由説明)	30 休会 (議案調査)	12/1
2 本会議 (一般質問)	3 本会議 (一般質問)	4 本会議 (一般質問)	5 本会議 (一般質問)	6 本会議 (一般質問)	7 本会議 (議案審議)	8
9 委員会 (各常任委員会 付託案件の審査)	10 休会 (事務整理)	11 休会 (事務整理)	12 本会議 (委員長報告、 各案件決定、開会)	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31	1/1	2	3	4	5

12月定例会に行う請願・陳情について

【提出期限】

11月20日(火)午後5時まで

【提出先】

喜多方市議会事務局(市役所4階)

※期限を過ぎて提出されたものは、次回の定例会で審査することになりますので、適時に要望したい事案については、提出期限にご注意ください。

【請願提出に関する必要事項】

請願には、必ず1人以上の市議会議員の紹介が必要になりますので、早めに市議会議員にご相談ください。

陳情の場合には、市議会議員の紹介は必要ありません。

詳しくは…

議会事務局

議事総務課総務係

☎24-5263まで

〇〇〇に関する請願(陳情)書

平成 年 月 日

代表者 住所

氏名

電話

紹介議員 氏名

※陳情の場合は紹介議員は不要です

喜多方市議会議員 様

請願(陳情)要旨

〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇下記について

請願(陳情)内容

1 〇〇〇〇〇〇〇〇

2 〇〇〇〇〇〇〇〇

議会の主な動き

7月

2日 議会運営委員会

3日 全員協議会、議会広報編集委員会

4日 産業建設常任委員会行政視察(～7日)、
総務常任委員会行政視察(～7日)

長野県小諸市議会行政視察受入

5日 いわき市議会行政視察受入

10日 全員協議会、議会運営委員会、
臨時会

13日 議会広報編集委員会

18日 文教厚生常任委員会行政視察(～20日)、
山形県舟形町議会行政視察受入

24日 総務常任委員会協議会

27日 市民と議会の意見交換会
(喜多方、塩川、高郷地区)

28日 市民と議会の意見交換会
(喜多方、山都、熱塩加納地区)

8月

1日 神奈川県大和市議会行政視察受入

6日 会津若松市議会行政視察受入

7日 全員協議会、議会運営委員会、
臨時会、各派代表者会、災害対策会議

10日 福島県市議会議員研修会、
会津若松市議会との交流事業

16日 千葉縣市川市議会行政視察受入

17日 産業建設常任委員会協議会、
全員協議会、各派代表者会

29日 議会運営委員会、各派代表者会、
タブレット利用者講習会

9月

5日 議会運営委員会

6日 9月定例会(～21日)、各派代表者会、
産業建設常任委員会協議会

12日 正副委員長会議

13日 全員協議会

21日 全員協議会、議会運営委員会

27日 茨城県常総市議会行政視察受入



▲いわき市議会行政視察(熊倉小体育館)



きたかた FM 議会中継
78.2MHz

定例会の様子を録音放送しています。

開会日の翌週、平日の午後2時～午後5
時は、ラジオ放送をぜひお聞きください。

表紙の写真

二人で仲良く50年

日本は世界屈指の長寿国であり、喜多市では100歳以上の方は51人いらっしゃいます。(平成30年10月1日現在) 今や「人生100年時代」。この長い人生を「いかに生きるか」は大きな命題ですが、より良く生きるための奥義は「仕事」と「愛する人」に恵まれることではないでしょうか。仕事が充実していれば人生はとても楽しくなりますし、加えて愛する人に恵まれる「結婚」は人生を充実させてくれるでしょう。愛する人と長く一緒に暮らすには、それなりの秘訣があるようです。

(2・3ページ特集をご覧ください。)

無理をしないで健康にすごすこと (小林和俊さん 加代子さん)



お二人暮らしの小林さんご夫婦は、今年で結婚50周年。高郷町敬老会(9月8日開催)において、「しあわせ金婚夫婦表彰」に臨まれました。高郷町敬老会では「ダイヤモンド婚夫婦表彰(結婚60周年)」も行われ、7組ものご夫婦が表彰を受けられました。おめでとうございます。

今回、取材にご協力くださったご夫婦の皆さんが総じてお話されていたことは「健康にすごす」ということ。お互いをさりげなく気遣い思いやりを持ってすごされているご夫婦の皆さんは、市内の若いご夫婦の最も身近で頼りになる存在です。

本市の3人に1人が65歳以上という超高齢社会。今後も早いスピードで高齢者人口が増加します。少子高齢化の進行はもとより、地域社会の機能や世帯構造が大きく変化する中で、高齢者介護・福祉のあり方が課題となっています。市民の皆様の生活を支えるためには、公的サービスのみならず、地域社会全体の「支え合い」「助け合い」が大変重要になります。

とりわけ、団塊の世代が75歳以上の後期高齢者になる2025年を目途に進められている「地域包括ケアシステム」は、住み慣れた地域で暮らし続けることができるよう、地域の特性に応じて、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供されるしくみであり、市議会でも注視しています。

今後も、市民の皆様のご意見等を参考に、地域共生社会を目指した各種施策の実現にまい進して参ります。

喜多市の染型……喜多市で作られた染型紙を「会津型」といい、江戸時代から昭和の初めまで東北一円の染屋に販売されていました。(県有形民俗文化財指定)

編集後記

今年は、異常気象とも言われ、近年にない猛暑の夏でありました。雨も降らず水不足に伴い日中ダムの水量低下により、渇水緊急対策本部が設置され、生活用水に節減や稲作水田にも水量調整により影響が出ました。9月定例会の一般質問では多くの議員から渇水問題の対策について質問が行われたところです。市民の皆様のご意見も頂ければ幸いです。

佐藤 忠孝

議会広報編集委員会

委員長 上野利一郎
副委員長 小島 雄一
委員 遠藤 吉正
後藤 誠司
渡部 勇一
佐藤 忠孝



▲編集作業にもタブレットを活用しています